

このような戦いではなく→→→

● 10月14日(水) 第1戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
DeNA	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
阪 神	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

● 10月15日(木) 第2戦

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
DeNA	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
阪 神	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

● 10月16日(金) 第3戦

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
DeNA	0	0	3	0	0	0	0	1	0	4
阪 神	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

● 10月17日(土) 第4戦

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
DeNA	1	0	0	2	0	0	0	1	4	8
阪 神	1	0	0	0	1	1	2	0	0	5

愛する阪神タイガース、今シーズンの戦いが終わってしまいました。私が言うのも何ですが「負けに不思議の負けなし」、そんな戦いだったかと思います。少々負け惜しみっぽくなりますが、今シーズンはここまで良かったのでは・・もし、このままソフトバンクと日本シリーズというような形になっていたら、来シーズンにまで響くような故障等起きていた可能性が・・そんな風に思います(それぐらい無理のある選手起用状態だったのでは?)。投手も野手も(選手層が薄いことによる)特定選手への負担増を何とかしなければならぬ状態なのだと思います。

井口監督が就任した侍ジャパンには、25歳前後の若手選手が選出されましたが、阪神からは1人も選出されていません。それがすべてを物語っていると思います。

また、暗黒の時代が来ることをないようにして欲しいです(ドラフトが大事ですね・・)。

1年間お疲れ様でした。

引き続き応援させていただきます。

このような戦いをしたい

● 10月12日(月) 第1戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
ドジャース	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
ブリュワーズ	0	0	0	1	1	0	0	0	×	2

● 10月13日(火) 第2戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
ドジャース	1	0	1	0	2	0	0	0	0	4
ブリュワーズ	1	0	2	0	1	1	0	2	×	7

● 10月14日(水) 第3戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
ブリュワーズ	1	0	0	0	0	0	3	1	1	6
ドジャース	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2

● 10月15日(木) 第4戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
ブリュワーズ	0	0	0	2	2	1	0	0	1	6
ドジャース	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4

逆に、凄い戦いを展開するチームが大リーグにありました。(日本人選手のいる)ドジャースを観るつもりが、途中から相手・ブリュワーズの戦いぶりをしっかり観る感じになってしまいました。対ドジャースとの4連戦、すべて逆転の試合で4連勝、上記のスコアを見れば分かるように1イニングに大量得点をするわけではなく、獲るべき1点をしっかりと、気付くとドジャースにじわじわ近付いている・・そんな感じでした。また、ボール球を振らない、追い込まれたらファール等で粘る・・チーム内で徹底していることも多く、本来コントロールの良い山本投手が球数を投げさせられているシーンが印象的でした。

このチームの取り組み(監督の方?)を引き続き観察していきたいと思います。